

奥州市環境基本計画 計画策定委員会（第1回）議事録

○ 日 時

令和7年8月20日（水） 15:00～16:50

○ 会 場

奥州市役所本庁舎 3階講堂

○ 出席者等

委 員

渡邊ユリ、若生和江、佐々木孝、渋谷晃太郎、花澤淳、住吉啓史、千葉一彦、小澤悟、
菊地昭宏、千田充、千田有美

事務局（GX推進室）

及川主幹、大内副主幹、高橋主査、神田主査、高橋主任、アジア航測株式会社

欠 席

【委員】阿部記之委員、本明満委員

【事務局】千葉GX推進室長

○ 次 第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 議事

(1) 委員長及び副委員長の互選について

(2) 第3次第3次奥州市環境基本計画の内容及び策定スケジュール等について

(3) 次回委員会の開催日について

- 4 その他
- 5 閉会

1 開会（委嘱状交付に引き続き）	
大内副主幹	<p>それでは、続きまして私から早速開会にまいりたいと思います。</p> <p>開会に先立ちまして、今回の会議の成立についてご報告をさせていただきます。本委員会につきましては、奥州市環境基本計画策定委員会設置要項第5条第2号の規定により、委員の半数以上が出席しなければ開くことができないと定められております。本日は、委員14名中11名の委員の方にご出席をいただいておりますので、本委員会が成立していることを報告させていただきます。</p> <p>ただ今より、奥州市環境基本計画策定委員会を開会いたします。</p>
2 挨拶	
大内副主幹	<p>はじめに、市民環境部GX推進室・及川よりご挨拶を申し上げます。</p>
及川主幹	<p>千葉GX推進室長の挨拶を代読させていただきます。</p> <p>本日は大変お忙しいところを奥州市環境基本計画策定委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。議事に先立ちまして一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>今回策定を目指しております奥州市環境基本計画は、奥州市総合計画の次に位置づけられる、環境分野としては当市の最上位の計画であり、市の環境施策の方向性を決める重要な計画です。この計画は、2010年に第1次計画を策定してから16年が経過しており、この間、環境分野においては東日本大震災を契機とした国によるエネルギー政策の転換や地球温暖化対策の国内外での推進などの大きな動きがあったほか、近年は環境と経済、社会の結びつきに注目し、それぞれの持続可能性を高め合う相互補完的な施策が展開されつつあります。</p> <p>今回策定する第3次計画では、最新の国内外の情勢を捉えた上で計画のバージョンアップを目指すとともに、環境分野として関連する地球温暖化に関する3計画も一体的に策定することとしております。これにより、環境的視点の下で普段の生活から社会、経済と広くカバーする計画となるほか、一体的策定による効率的な取り組みによる持続的かつ複合的な効果を生み出すことを模索するものでございます。</p> <p>ぜひ委員の皆さまにおかれましては、それぞれの専門的な見地、ご経験に基づきご意見やご協議を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。</p> <p>奥州市市民環境部GX推進室室長千葉光輝、代読でございます。</p>
3 議事	
大内副主幹	<p>続きまして、次第、3番の議事に入りたいと思います。当委員会につきましては、委員長が会議の議長を務めることになっております。委員長が選ばれるまでの間、GX推進室の及川が議事進行を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
及川主幹	<p>委員長選出まで議事を進めさせていただきます。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>(1) 委員長および副委員長の互選についてです。奥州市環境基本計画策定委員会設置要項第4条第2項の規定により、委員長および副委員長を委員の互選により選</p>

	<p>出することとしております。立候補または選出方法のご提案等ございますでしょうか。</p>
若生委員	<p>事務局案がありましたらばお伺いしたいと思います</p>
及川主幹	<p>今、若生委員から事務局案の提案を求める声があったのですが、皆さまそれよろしゅうございますか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声あり）</p> <p>ありがとうございます。異議なしということでしたので、事務局案の提案をお願いいたします。</p>
大内副主幹	<p>事務局案といたしまして、委員長に渋谷晃太郎委員、副委員長に花澤淳委員を推薦いたします。</p>
及川主幹	<p>ただ今、事務局から委員長に渋谷晃太郎委員、副委員長に花澤淳委員という提案があったのですが、事務局案に対してご異議ございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声あり）</p> <p>ありがとうございます。異議なしということでした。それでは、事務局案のとおり、委員長に渋谷晃太郎委員、副委員長に花澤淳委員と決定いたしました。</p> <p>渋谷委員におかれましては、委員長席のほうにご移動をお願いいたします。</p> <p>それでは、奥州市環境基本計画策定委員会設置要項第4条第2項の規定によりまして、この後の議事の進行は渋谷委員長をお願いいたします。</p>
渋谷委員長	<p>ただ今選任いただきました渋谷です。よろしく申し上げます。小さな委員会なので、委員の皆さま方から忌憚のない意見をたくさんいただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、議事を預かりましたので再開したいと思います。次第(2)の第3次奥州市環境基本計画の内容および策定スケジュール等について、事務局からご説明をお願いします。</p>
大内副主幹	<p>それでは、お手元の資料、パワーポイントで作成いたしました第3次奥州市環境基本計画の内容および策定スケジュール等についてご覧いただきたいと思っております。合わせまして、別紙等に飛ぶ場合がありますがご容赦ください。</p> <p>資料の1ページ目、下の段、目次を記載しておりますのでめくっていただきたいと思っております。「はじめに」ということで、今回の環境基本計画をどういうものとするべきかとして簡単に記載させていただきました。読ませていただきます。</p> <p>現在、奥州市の環境は、比較的良好と思われていますが、地球温暖化による急激な気候変動がもたらす災害や健康被害、産業への影響などは憂慮すべき状況が進行</p>

しつつあります。

また、その他、生物多様性の保全、回復や循環型経済（サーキュラーエコノミー）への移行など、より大きなテーマへの参加と挑戦も強く求められています。

今回、策定を目指す第3次奥州市環境基本計画は、市民、事業者、市民団体、そして市（行政）が、奥州市の豊かな環境を次世代に引き継ぐため、自分たちがそれぞれ主体的に何をしなくてはならないかということ相談しながらまとめることを目指した計画です。

資料下段に進みます。こちらからは、今回策定を目指す計画の内容の概要についてまとめさせていただきました。今回策定を目指す計画は、基本4つとなっています。一つ目、第3次奥州市環境基本計画でございます。こちらは先ほどお話がありましたとおり、奥州市の行政、環境分野におきます最上位の計画として位置づけられております。計画の期間は10年間、2027年の4月から2036年度までということで予定しています。

この計画は行政計画ということで、根拠として奥州市環境基本条例に計画を定めなくてはならないということでの規定がございます。対象とする内容につきましては、土、水、大気、森林等の自然環境のほか、生物多様性、外来生物、循環経済、環境汚染、生活環境なども奥州市の環境基本計画ではこれまで対象としていたところでございます。

関連キーワードとしまして、最新の国の第6次環境基本計画におきましては、「ウェルビーイング」をはじめとしてさまざまな新しい言葉等が登場しています。これらにつきましても、当市の新しい第3次環境基本計画におきましてはカバーしてまいりたいと考えていたところでございます。

続いて次のページ、上の段、こちらに2つ計画を載せました。上のほうが第3次奥州市地球温暖化対策実行計画事務事業編、下のほうが同じく奥州市地球温暖化対策実行計画区域施策編です。

非常に似た計画ではございますが、上のほうの第3次奥州市事務事業編につきましては、第2次までが現在稼働中でございます。対象としては、市役所が行う業務、仕事から発生する温室効果ガスを対象として、その削減目標、あるいはその方法について規定するものでございます。

それに代わりまして区域施策編につきましては、市役所だけではなく、奥州市全体で市民の生活から、あるいは事業者の事業活動などから排出されている温室効果ガスを対象として、その削減目標や方法について規定をするものでございます。どちらも環境基本計画と同じ10年間の計画期間を想定しております。

最後に下のページで4つ目です。奥州市地域気候変動適応計画でございます。こちらは、進みゆく地球温暖化がもたらすさまざまな気候変動等の影響に対して、あらかじめどのように適応していくかという内容について作戦を決めていくというような内容の計画でございます。下のほうに「例えば」として書いています。さまざまな影響、一番実感できるのは、この暑さでニュースで毎日のように報道されてお

ります熱中症の搬送者の増加、亡くなられる方の増加ということでございます。あるいは、自然災害も激甚化した上に頻発しているという状況でございます。これらを、在るものとして踏まえた上で、どのようにしてそれらに対して適応していくかということを考えていく計画でございます。

次のページです。(2)として計画期間、先ほど4つの計画とも10年間とさせていただきたいということでご説明を差し上げたところでございます。こちらについて、なぜ10年間なのかということに少し触れさせていただきます。

実は国および県については5の倍数の年で区切りを、計画の中で現在作っている状況でございます。一番近いところだと2030年、次が2035年、2040年、そして2050年のカーボンニュートラルまで続いていっているというようなロードマップが描かれております。

これに対して、令和9年度をスタートとする10年間で奥州市が計画を策定した場合、それぞれの中間年、あるいは10年目の終わりの年の1年～2年前に国、県の新しい計画等が確定できるということになります。これにより、国・県の新しい動向、トレンドを、奥州市としては見直しのたびに一番新しい形で取り込みができるのではないかと狙ったところではあります。この部分が10年間とするポイントの一番大きいところではあります。

以上、4つの計画に続きまして、下の段(3) 一体策定ということで書かせていただきました。こちら、環境基本計画、地球温暖化対策実行計画の事務事業編および区域施策編、地域気候変動適応計画の4つの計画を今回第3次奥州市環境基本計画として一体的に策定することを目指しています。

次のページ、スライドナンバーは7ページ目です。2の計画の内容についての(3)、4つの計画を一体策定することについて、少し触れさせていただきたいと思います。こちらにつきまして現在、各計画、実は非常に似通った、あるいは相互に関連性を持った内容を抱える計画として認識しています。脱炭素が自然環境、あるいは人体に、経済面にさまざまに影響を及ぼすという意味で、「1つの成果がほかの計画に波及したり、1つの取り組みが複数の計画の目標達成に寄与するもの」というところを見込んでおります。

もう1つ、「他分野との共通的な成果により持続的な環境分野への持続的な投資を」というところではあります。一般的に投資、経済的な投資、あるいは社会制度、インフラ等への投資、場合によっては日常生活、市民個人の方への投資、様々な形で様々な主体の投資を行っているところではあります。これらについて、先ほど申し上げたとおり、1つの取り組みが複数の計画目標に寄与するという部分を踏まえ、相互にそれぞれがいい意味で成果の波及を生むということを目論むことができますので、これにより、環境分野について持続的な投資を行うことができると考えたところではあります。

今回の環境基本計画につきましては、下の文章で書かせていただきましたが、一体的に策定する4計画の「原因」と「結果」、「取り組み」と「成果」のリンクに注目しつつ、計画の運用や目標の達成のために必要とする人やコスト、取り組みなど

それぞれのリソース整理を行い、効率的な運用を目指してまいりたいと思います。また、「環境のためだけの投資」「環境のためだけの取り組み」ではなく、社会、経済、生活といったより多くの分野への効果の波及も探ってまいりたいと考えています。

下の段3の計画策定作業・スケジュール等です。まず、策定作業の概要としてご説明差し上げます。

はじめに、先ほどご紹介したアジア航測様およびGX推進室で、アンケートあるいは基礎調査の分析等の結果を基にたたき台となる素案を、委員会ははじめ各計画の策定に関わっていただきます団体等に情報を提供いたします。それぞれの立場でご意見、ご協議等をいただきまして、最終的に奥州市環境基本計画ということで（委員が閲覧している資料の図のとおり）カラフルな棟数の多い計画を目指したいと考えています。

次のページです。策定体制について図式化をしました。計画策定委員会を中心としまして、市民ワークショップ（以下、「WS」）、職員ワーキンググループ（以下、「WG」）、あるいは奥州めぐみネットなどのご参加、ご検討、ご意見、ご指摘等をごいただきまして計画案を検討してまいりたいと思います。最終的に奥州市環境審議会のほうに諮問をさせていただくほか、パブリックコメントなども経由しまして、令和9年3月の完成を目指しましてスケジュールを進めてまいりたいと思います。

策定スケジュールにつきましては、A3、折り込んでおります横向きカラーの表をご覧くださいと思います。一部、現段階でWS、WG等につきましては具体的な日付まではまだ決まっていないので、横のバーで「期間」という形で表示をさせていただきます。こちらは令和9年3月までの見込みの作業ということで載せておりますので、ご覧いただき、ご意見等ございましたらお寄せいただければと考えているところです。

3、策定作業の中の（4）基礎調査と（5）市民アンケートについて触れさせていただきたいと思います。まず、基礎調査については、同じくA3判で、策定スケジュールの次のページに折り込んだオープンデータ等の活用について、その目的と合わせて資料としてまとめさせていただきました。これについては、こういったものもぜひ見たほうがよろしいというようなご意見等がありましたらいただければと思います。

続いて、市民・事業者の皆さまに対するアンケートについてです。お盆前にお送りしましたこちらの資料につきまして一部変更がございましたので、今回お配りした資料のほうでご覧いただければと思います。

まず、アンケートの概要です。主にカテゴリーとしては三つに分かれております。市民個人の皆さま、事業者の皆さま、高校生の皆さまということで検討しています。それぞれの規模につきましては、合計して6,000台後半の人数の方に通知等を図ってまいりたいと思います。

今回の調査方法につきましては、紙およびWeb、電子でのアンケートを予定して

おります。紙につきましては、これまでの行政のアンケート等と同様に、設問および回答用紙、返信用封筒を対象者の方にお送りしまして、回答者は回答記入後、返信用封筒でGX推進室に送り返していただくというつくりを想定しています。

表の中で電子と書いております Web アンケートにつきましては、チラシのほうに Web 上でリンクを張っている QR コードを印刷していますので、そちらを読み取っていただくか、あるいは市ホームページからリンク等をクリックしていただき、そのまま Web 上でチェックを付けながらご回答いただけるという内容で想定しているものでございます。

続いて、最後のページですが、こちらのご説明の前というか、実は今回の会議に至る直前となりましたが、アンケートの設問を含め、事務局とアジア航測さんの中でかなりもみ込んだ案が出来上がりましたので、こちらについてご説明をすることで最後のページの説明に代えさせていただきたいと思えます。

ご覧いただきたいのは、1枚もの両面で青が基調になっている「市民・事業者アンケートの内容について」というものです。こちらについて、まず①カテゴリの内容については先ほどお話ししたとおりのものでございます。先ほど触れませんでした、カテゴリーはさらに細分化され、合計で7つまで分かれます。

一番目、無作為抽出・ランダムで住民基本台帳から抽出された市民の方です。こちら、当初の抽出数は2,000としております。続いて、補助金申請者、先日まで行っておりました省エネ家電買換促進補助金の交付を受けられた方、3回の補助金の事業の中でおよそ、それぞれ400名を超える方が交付申請を行っておりましたので、合計で1,200程度。めぐみネットの会員、個人会員と家族会員の皆さま。これらが市民カテゴリーの中の細分化された3つのカテゴリーでござります。

続いて事業者の方です。おうしゅうエコ事業所の方、およそ140を超える数となっています。前沢商工会および奥州商工会議所のご協力をいただきまして、それぞれ来月頭頃に会員の皆さまに発行される会報のほうに、Web申請のQRコードを記載したチラシの折り込みをいただけることとなりましたので、この部分、事前にお送りした電子データより人数が若干増えています。

最後、高校生でござります。奥州市内には普通科の高校のほかに商業、農業、工業とさまざまな高校がそろっていますので、こちらのほうに来週あたりから学校にもお願いして、主にWeb申請、Webアンケートの形で回答にご協力をいただきたいということで依頼してまいりたいと考えているところでござります。

②アンケートの種類、要は設問の種類になります。現在、4種類に区分してアンケートの設問については準備をいたしました。無作為抽出の方とめぐみネットの会員の方の市民アンケートの部分と、補助金を受け取られた補助金申請者の方のアンケートの部分、事業者の方を対象としたアンケートと、高校生向けのアンケートということで、4種類でござります。具体のアンケートの設問については後でご覧いただければと思えます。

下の段です。設問の基本構成について書かせていただきました。一応、行政が行

うアンケートのセオリーに従いつつ、県内各市町村で同様の環境基本計画の策定に当たり行ったアンケート、設問なども加味して、5つの構成としています。

設問数は、市民アンケート 22、補助金市民アンケート 27、事業者アンケート 25、高校生アンケート 13 ということです。括弧内に回答選択回数を書いております。こちらについては、例えば Web アンケートの場合であればクリックする数と考えていただければ結構だと思います。あまり長いとアンケートの回答率に影響を及ぼすということで、さまざま、せつくなのでということでお聞きしたかったところではございますが、比較的より絞った形で設問については選抜を行いました。

裏面に回っていただければと思います。アンケート間の設問の関係性について一覧表にさせていただきました。全ての欄に埋まっている設問につきましては、アンケート間を越えて、同じ設問、聞き方で載っているものです。逆に空欄の部分につきましては、その対象カテゴリーの方にはお聞きしないということとなっています。

特徴的なのが、中段より少し下のところ、「省エネ家電補助金の影響」ということで、こちらについては補助金を受けられた方しかお答えいただけないこととなりますので、ここには入っていますが、それ以外の市民、事業者、高校生のアンケートでは空欄となっています。

合わせてもう 1 点です。そのすぐ下に、「市に期待する環境施策」ということで全てのアンケートに盛り込む設問がございます。こちらについては、同時期に奥州市の総合計画の見直しに合わせてアンケートを準備されております。こちらのアンケートの問いと同じものとなるように、担当課と調整を行っております。そのためこの設問に関しては、総合計画のアンケートのほうが 3,000 人を対象に配布される予定となっている一方、こちらのほうは 5,500～5,600 を対象に配布されますので、この「市に期待する環境施策」については、ほかの設問に比べて母数は多い予定でございます。

アンケートに関する 5 その他です。①アンケートについては市ホームページでも回答を受け付けることとしています。市民、事業者、高校生の 3 種類について、市のホームページに受付ページを作成し、QR コードあるいはリンクを貼る形で回答を受け付けいたします。なお、その回答については送付によりご回答いただく方々とは別の集計をすることとしております。

②抽出市民の状況について、お示ししています。当初、2,000 名を抽出する予定としております。水沢、江刺、前沢、胆沢、衣川の各地域の人口の状況の割合と合わせまして、それぞれ配分を行っております。さらに、年代として表示のとおり区分をかけています。2,000 名から少し足が出る形でしたので、一番人数の多い水沢地域の 80 歳以上の方から 2 名ほど減をさせていただきます。

なお、最後、1,300 名に絞る形となりますが、補助金市民が 1,200 名、めぐみネットの市民が 60 名程度ございますので、これらの方々と重複されることを想定した上での抽出数 2,000 名となっております。最終的に 1,300 名までランダムに選抜予定としています。

最後、実施予定でございます。来月早々を発送の目標日としています。こちらから逆算すると、印刷データの完成のリミットは来週の火曜日、8月26日が限界となる見込みとなります。委員の皆さまにおかれましては大変恐縮ですが、今回アンケート設問等をお配りしたばかりのところですが、可能でしたら今週末22日の昼ぐらい、夕方ぐらいまでにGX推進室にメール等でご指摘等いただければ大変ありがたい状況となっています。

とても長く説明を申し上げたところですが、最後に、具体の設問の案のほうにつきまして、お手元に左上をホチキスで留めました横向きのそれぞれのアンケートで市民向け、事業者向け、高校生向けということでお配りをしたほかに、こちらから両面印刷の、先ほどからチラシということで申し上げておりますアンケートの設問と一緒に送る、あるいはお配りするチラシについてもお配りしております。

チラシのほうについては、数えていただくと少しカテゴリーが多い形に見えるのですが、実は一般市民の方、めぐみネットの方、補助金を受けられた方にそれぞれ合わせて文章の表現を若干変えております。そのため、印刷の版が少しカテゴリーより多い形となっているところでございます。

以上、今回お配りしました計画策定の内容およびスケジュールで、資料が少し増えてしまいましたが、アンケートにつきましての説明につきまして、全部続けてしまいましたが、事務局からの説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

渋谷委員長

ありがとうございました。

説明について、委員の皆さま方からご質問、ご意見等、いただきたいと思えます。挙手していただいでご発言をお願いいたします。とはいってもアンケート等いろいろあったので、まず、内容とスケジュール等について伺えればと思えます。4つの計画を作らなければいけないということで、結構大変な中身になっていると思うのですが、期間10年間ということで、来年まで策定作業をやって令和9年からスタートするというので、ほかの、国や県とかの計画とは若干ずれるんですけども、先ほどのご説明だとちょうど2030年とかに国のほうが出してきて、それを踏まえて市のほうは計画を考えていくというような流れになっているということだったと思えます。

何かございますでしょうか。分からないこと、質問とかでもいいです。ちょっと分かりにくいところが多いので。いかがでしょうか。

若生委員

4つの計画が一緒に話し合われるというのはとてもいいなと思えました。今まではバラバラに話をしていたのでなかなかうまくつながっていなかったり、あとは、市の中の環境課以外の課とつなげるのが難しかったところを、一体的に計画を作っていくというのはとてもいいんじゃないかなと思いついていました。

<p>渋谷委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>初めて聞く内容もあるかと思いますが、分からないことがあればどんどん聞いていただければと思います。先ほどアンケートのところは後でと言いましたけれども、全部ひっくるめて結構です。</p>
<p>若生委員</p>	<p>では、もう1つ。市民の人たちとのWSの作り方について、関心がある人は何だかんだと集まってくるんだけど、そこからあまり関心を持たないなという人たちにどれだけ、何か面白そうとか思って参加してもらえるとか、その辺の策については何かおありだったりしますか。</p>
<p>大内副主幹</p>	<p>ただ今、市民WSの開催の作戦ということでございます。基本的に、WSにつきましても1つのテーマで勉強しながら楽しみながらということ考えているところですが、1つ案といたしまして、今回の計画にステークホルダー、あるいはプレーヤーとして携わられる方々がさまざまなカテゴリーに属されているというのはアンケートでも見えてきたところでございます。</p> <p>なので、例えば事業者向けのWS、高校生向けのWS、あるいは全てミックスされたWS、それぞれの中で見えてくる課題、取り組み、ご要望などを洗い出すということで、1つ、カテゴリーを分ける形で行うというWSも面白いのかなということで考えているところでございます。</p> <p>あわせて、各WS、さまざまな形で、例えば有識者の方をお呼びするということでもいいと思うんですが、先ほどのカテゴリーを分けた中で、事業者の方が今後の経営環境、あるいは経済環境に対して求めていくであろう国・世界の動向と結びつけるようなお話を提供できるということも非常に面白いのかなと思っておりまして、それぞれカテゴリーに合わせた開催方法なども探してみたいと思います。</p> <p>もちろん、基礎的に参加者がいる程度固定された形で、講座のA、B、Cというような中身と一緒に脱炭素、あるいは環境全体に対して触れていただくというWSもありだと思っておりますが、今回これから2年間の中でさまざまなやり方、時間、曜日等、会場等も含めて、参加しやすさも加味しながら検討してまいりたいと考えているところでございます。</p>
<p>渋谷委員長</p>	<p>いかがでしょうか。</p>
<p>若生委員</p>	<p>楽しみにしています。</p>
<p>渋谷委員長</p>	<p>今の中身について、委員の皆さんから提案とかそういうのを受ける方法というのもあるんですか。</p>
<p>大内副主幹</p>	<p>ありがたいです。</p>

<p>渋谷委員長</p>	<p>特に企業さんとかいらっしゃっていますので、企業系にどういうものをやったらいいのかとか、企業の立場からご意見いただくのがいいかなということとかがあると思いますので、何かご意見、何かこんなのをやったらいいんじゃないとか、そういうご提案があればありがたいと思います。</p>
<p>住吉委員</p>	<p>8月9日に環境学習講座として、小学生向けの授業をさせていただいたのですが、子どもが楽しめるような内容で募集をかけたんですけども、募集にはかなり苦労したというところがありました。</p> <p>いろいろな方々に聞くと、私は結構環境について熱く思いがあっていろいろな人にやろうよと言うのですが、受け手側は、やはりそれほど環境には興味がない、関心がないというところが正直なところだよと、結構グサッとくるような声をいただいたというのは、自分の温度感と周りの温度感は違うんだなというのが、正直、思ったところでした。</p> <p>ではどうしたらいいか。定量的な目標を具体的に推進するのは、個人であったり企業にどれだけ関心を持ってもらうかということに尽きるのかなというふうに思っています。もし奥州市さんでというふうに捉えたときに、最近言っていたのが、例えばですがストリートピアノ。秋田で今、設置台数が全国で一番だったかな、岩手が5番目ぐらいだったかな、載っていたんですけども、まちのにぎわいができてすごくいいみたいなのところがあって。僕は、ガラじゃないと思われるかもしれないですが、ピアノは結構好きで、そういうところを見に行って、ああいいなというふうに思ったりとか、弾いている人も楽しそうだし聞いている人も楽しそうだなと。</p> <p>例えばそういった、「まちのにぎわい×脱炭素」の取組みみたいな形にすると、日頃そういった脱炭素とか環境とか、興味はあるけれどWSまでは行かないなみたいな方が気軽に來れて楽しみながら学べるみたいな形がとれたら、知る機会が増えてくるきっかけになるのではないかと考えていました。</p>
<p>渋谷委員長</p>	<p>ありがとうございます。何か楽しくなるしかけみたいなものがあるって、芸術とか、一見環境とは関係ないかもしれないけれど、実はすごく関係があるというところ、来てもらえれば分かるというような課題なんですかね。そういうのがあるといいかもしれないということですよ。</p>
<p>住吉委員</p>	<p>例えば江刺ですと、ミュージシャンの大瀧詠一さんの曲を弾くとか、そういった地域由来の方のフェアと一緒に合わせ持って、そういった歴史の伝承とミュージックと、通常では合わないものをあえて掛け合わせてみるのも面白いかなと思いました。</p>
<p>渋谷委員長</p>	<p>ちょっと工夫がいらいますね。ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。</p>

若生委員

今の話を聞いていてそういえばと思ったのですが、もう壊すと言われていたけどちょっとかっこいい建物をリフォームして、ファッション系の方がそこを新たないい、素敵な空間にしたりという事例が市内でもポツポツとあって、こっちに行けば手のつけられない倒壊寸前の家屋になってどうしようってなるけれど、違うほうに目を向ければ資源として生かせる魅力的なものになるというか、今までの環境というところからはあまり結びついていなかったけれど、実はそういうところに面白みがあるよという視点で巡って歩くとか。そうすると古民家再生につながるような仕事ができる企業とまちの人とか、そこを拠点にしてつながっていくにぎわいとかっていうのも、今まではあまり環境は関係ないと思っていた人たちにつながるきっかけがもしかしたら実は既にあるところに気づいていないけど、あるんじゃないかなと今ちょっと思ったので。

渋谷委員長

ありがとうございます。空き家対策の一部になるかもしれないですよ。リフォームすることによって快適になる、実感できるというのはいいのではないかなと思いますし、いろいろな切り口が出てくるかもしれないですよ。

脱炭素といっても何をやっていいのかよく分からない、響かないんじゃないかと思うんですよ。一見関係ないところでも実は関係があるというのが体感できればすごくいいなって思うんですけども。

私も何校かの高校で脱炭素未来 WS というのをやっています。高校とか学校で脱炭素といっても高校が振り向いてくれないんですよ。特に岩手では、あまり感じてないというのかな。今年はひどいですけども、割と恵まれている。先ほどもお話がありましたが環境が恵まれているということで響かないんですけど、人口減少とかを組み合わせると、やはり危機感を持っていらっしゃるんですね。今の高校生たちは、人口も減るし気候変動、両方ダブルパンチで食らうわけです。

それを両方加味して 2050 年ぐらいになるとこうなっちゃうという姿を見せてあげて、じゃあ、どういう課題があるのかというのを WS でやって、未来志向の提案をしてもらうというようなことをやったりしているんですけど、やはり、環境だけを前面に出していても関心が薄いので、ほかの何かとくっつける。あるいは、これだけ暑くなっているので、こういう暑さにどう対応していくかという、自分の身を守るとか健康をキーワードにして、特に高齢者の方、この暑い夏をどう過ごすかとか、そういう生き死にに関係するような。住宅もそうなんですけど、そういう WS にすると気がついてくれるというか、来てくれるとか可能性があると思うので、いろいろ探ってもらえればと思います。

このような全然関係ないような話でも結構ですので、どんどん出していただければと思います。

他にはいかがでしょうか。今日はテーマがそんなに、スケジュールとかそんな話だと思うので、中身に入ってきたら皆さんにどんどん意見を言ってもらいますので、黙って帰らないというような運営をしていきたいと思っています。

住吉委員	<p>空き家対策の件ですが、私は転勤族で2012年に奥州市に来まして家族で住んでいるんですけども、うちの住んでいるストリートで89歳の親御さんが亡くなられて空き家になって、そこにはお邪魔したことがあったんですね。</p> <p>今まで見たことないような堅牢な造りというんでしょうかね、太い柱。普通の住宅なんですけども、築50年と言ってましたけど、堅牢な柱で、床なんか隙間がないような本当に堅いつくりといいますか。昔の住宅はものすごく丈夫につくったんだなというのが素人ながらすごく分かるような住宅で。</p> <p>そのお隣のおばあちゃんのうちに遊びにいったら、そこも築50年なんですけど、そこも同じように、見た目はものすごく古いんですけど中身はものすごく堅牢にできているということで、一言で言うと単なる空き家なんですけど、その活用の仕方というんですかね、すごくあるんじゃないかと。</p> <p>こんないい物件、少しリフォームすればまだまだ使えそうな家を使えたらすごくいいんじゃないかなというふうに思いながらですが、私が奥州市に来てすごく思うのが、景色がよかったり空気がよかったり、あとは温泉がすぐ近くにあって、スキー場に遊びにいったり、これほど生活環境がいいところはないなど。</p> <p>仕事で8月7日に東京に行ったら、こんなとこ住んでいるのかというぐらい暑くて。もう少ししたら、特に東北、岩手以北に住みたいまちになってくるんじゃないかなと、本当に心から感じたというところで、何かそういった潜在的なまちの魅力みたいなものをもっと発信しながら、空き家はこれからどんどん出来てくると思うんですけども、価値ある空き家が多く残っていると思いますので、そういうものをうまくリフォームしながら人を呼び込んで、先ほどのまちのにぎわいも含めた、人を呼び込むような、地方創生と合わせた取り組みができれば。すみません、生意気なことを言って。何かそんなことを最近、住みながら思っていました。</p>
渋谷委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>渡邊ユリ委員、何かございますでしょうか。何でもいいです。質問でもいいし。</p>
渡邊委員	<p>普段は主婦をしているので、そんな目線からですね。</p> <p>私としては、もったいない精神があるので、食品ロスだったり、古着。子ども、今はもう小学校6年生で、だんだん大きくなってくとたまっていくんですよね。なかなか手放せない理由もあるんですけど、もっとうまく活用できて次の人に渡せたら、それもただ渡すんじゃなくて、何かイベント的なことであったり、例えばポイント制になったりとか、相手にも利益があるけどこちらにも利益あるみたいなそんな活動だったらちょっと少なくなるかなとか思ったりしています。</p> <p>あと、今、昭和レトロとかはやっているので、家に眠っている着物とか、そういうものとかも実はお宝だったりするのかもしれないと思って、今皆さんのお話を聞いていました。</p>

<p>渋谷委員長</p>	<p>サーキュラーエコノミーと言っていますが循環経済というか、ものを大事に使うというような仕組みができるといいかなと。あとは、地域通貨みたいなところに交換できたりとか、いろいろ考えられるかなという気がします。ありがとうございました。</p> <p>佐々木委員、いかがでしょうか。何かございますでしょうか。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>私の目線の先に水沢病院があるんですけども、あの病院がこの先どこに移るのかなというふうなのをちょっと思いながら。私の弟の子どもが一関に夫婦で引っ越してしまったということがありまして、どうしてかなということは、産婦人科がない。</p> <p>男性的にはほとんど分からない部分になると思うんですけども、女性にとっては子どもを産むという行為が当たり前ではなくて、介助してもらわないと出産ができない、頼りになる医者が地元・奥州市にはないということで、ここに住んでいるの出産となると一関、北上に行かないと何ともならない。産気づいたら、まさか救急車でもないだろうしタクシーでもないだろうし、ここに住んでいて産気づいたらどうなるんだろうなということを考えると、産婦人科を作ろうという意見がなんで出てこないのかなというのが非常に不思議で。</p> <p>どこのまちもそうですけれども、人口が少しずつ減ってきている。高齢者が、先ほども話された方もいらっしゃるんですけども、亡くなっていった空き家になり、ここのバランスが、将来まちがなくなる要因につながることに思うと非常に恐怖感を抱くようなところもあって、小市民的な私にとっては、何ともしづらい、ならない、どうしたらいいのかな。</p> <p>市長、何とかしてよという思いではあるんですけども、取りあえずは、人間が生まれてくるには産婦人科のお医者さんの力がないといけないんじゃないのとか、まちを大きくするためにはそういったところからなんじゃないのかなというふうな提案といいますか、そういったところを感じるところでした。</p>
<p>渋谷委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>医療とか福祉とか、人口減少もそうなんですけれど、熱中症対策にしてもどんどん悪くなっていくという、全体が悪い方向に行ってしまうという。人口減少もそうだし、気候変動の影響も両方受けてしまって。やはり危機感は皆さん持っていらっしゃるんじゃないかと思うんですよね。そういうものに対応できるようにしていかなければいけないということだと思います。</p> <p>特に、気候変動に関しては適応計画を作ることになっていて、医療を含めて、熱中症対策をどうしていくかというのを具体的に見せていかないといけないのかなと。むしろ市民にはそっちのほうが関心が高いのかもしれないですね。本当に暑くなってきている。今日もすごく暑いと思うんですが、実感できてきているのかなと思いますので、そういったご意見もどんどん言ってもらえればと思います。</p>

<p>花澤副委員長</p>	<p>花澤委員はいかがですか。</p> <p>アンケートとこの基礎調査が今回の新しい環境基本計画を作っていく上ですごく重要になってくると思うんですけど、今回の環境基本計画に反映したいこととしてウェルビーイングという考えがあるというふうに先ほどおっしゃっていましたが、ウェルビーイングって暮らし方、幸せに暮らせるかというところで、一見環境とは直接関係がないところだと思うんですけども、ここが好きだなと思って幸せに暮らすことでその地域を好きになって、その地域の環境を守ろうと思って、というふうに全てがつながっていると考えたら、今回のこのアンケートを見ると、環境の質問直球でいっているような気がして、「このまちは暮らしやすいと感じていますか」とか「どうしてもっと暮らしやすくなりますか」とか、もう少し攻め方等も工夫したほうがいいんじゃないかなと思います。</p> <p>例えば今、企業誘致とかで、工業団地に奥州市も企業誘致していますけども、その人たちが一体どれくらいまちに出てきてこの奥州市を楽しんでいるのか。奥州市に来ることによって奥州市のどんないいところに気づいたのかとか、奥州市がどうなればもうちょっと自分たちもまちの人に溶け込めるのかとか、そういった攻め口を見つけることで、例えばもっとまちに緑を増やしたほうがいいよとか、環境としてわれわれが打てる対策が見えてくるようなところもあると思うので、よそ者とか移住者とかも含めて、そういうのをアンケートのターゲットに加えてみるというのも面白いかなとは思っています。</p> <p>それと、基礎調査の項目として例えば、県外、海外含めてですけども、ほかの自治体で、ここの環境基本計画はすごい実効性があったいいよとかというところがあれば、われわれ委員としてはそういった事例を見てみたいというふうに思います。難しいかもしれないですが、先行事例って何が先行かは判断が難しいので何とも言えないんですけど、例えば、徳島市、ごみの分別をすごいやっていると、それによって自分の地域はすごいんだと愛着が持てたということでさらに自主的に分別が進むようになったとか、暮らしと環境保全が一体化している自治体の事例、まちづくりの事例というのをこの基礎調査の項目として入れてみてはいかがかなというふうに思います。</p>
<p>渋谷委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>大内副主幹</p>	<p>今の2点についてお答えいたします。</p> <p>まず、今回ちょうど総合計画の、先ほど触れましたアンケートが同時期に実施されます。そちらのほうが、まさに奥州市の魅力についてさまざまな角度から深掘りする設問が用意されていました。その政策担当課と私どもとで設問の相乗りということで1点触れておりますが、その結果については相互に共有し合うということで内々の約束を実は済ませております。</p>

	<p>それであれば、私どもが行うアンケートの設問数が限られている中で、今回 4 計画、自然環境全体と脱炭素と適応計画、この範囲が分野としては環境の分野にということで包まれますが、範囲としては大きい、広い計画でありましたので、その部分を全部入れてしまいたいということで特化した意味合いで今回のアンケートは策定しております。</p> <p>なので、まちの魅力等につきましては、環境の視点で拾われてくる環境としての、私どもの今回の設問としてももちろんありますが、それ以外の視点で奥州市の求めるもの、あるいは魅力として見られているものについては総合計画のアンケートのほうで浮き上がるものとして想定しております。</p> <p>2 点目、他市等の計画でございます。現在、GX推進室全員にノルマを課す予定で、過去 3 年以内に策定された環境基本計画あるいは温暖化対策実行計画につきましては、環境省のポータルサイトを確認すると全部見られますので、全部読み込むようにということでやらせていただく予定としております。先行事例でさまざまな取り組みが奥州市にとって参考になる部分がどんどん出てくると思っておりますので、それらを1つたき台の中に入れつつ、議論を深めていっていただくというのもルートとしては、限られた時間の中では合理的かなと今考えているところでございます。以上です。</p>
花澤副委員長	<p>アンケート、総合計画とちゃんとリンクされているということで素晴らしいと思います。アンケートを取った結果をどういうふうに環境基本計画につなげていくか、アンケートの対策の仕方、使い方というのも非常に重要になってくると思うので、そこに新しい視点を入れられるかどうか、アンケートをどういうふうに生かしているのかという部分もし見えたらわれわれも見たいなというふうに思います。</p> <p>あと、先行事例につきましては、できるだけ海外の先進事例とかも入れてほしいなと思います。海外のほうが幸福度とかも高かったりもしますので、そういったところの事例を踏まえて、日本でも「奥州市の環境基本計画、素晴らしいよ」って言われるようなものにできたらいいなというふうに、ハードルを上げて思います。よろしく申し上げます。</p>
大内副主幹	<p>まず 1 点目のほうについてお答えいたします。後で、今回の会議の中でご説明しようと思っていたところでしたが、それぞれのアンケートの回答結果の取りまとめが終わった後の分析につきましては、アジア航測さんのほうで行っていただいた後、会議の機会を待たずに、委員の皆さまについては随時情報提供してまいりたいと考えているところでございます。それらを基に、事務局側がそのトピックをどうしてトップに持ってきたのかというあたりも考えていく中でご意見等、いただければいいかなと思っていましたところですが、</p> <p>2 点目です。私はせいぜい津軽弁までしか分からないところでございますが、可能な限り努力をしてまいりたいと思います。ヨーロッパとかのほうが進んだ、特</p>

花澤副委員長	<p>に再エネ等々の社会制度の溶け込み方という意味ではそういう印象を持っていたところでございますが、可能な範囲で頑張ってみますので、もし可能であれば逆に「これ、読んでみるといいかもよ」というようなネタのご提供なんかもいただくと、限られた時間の中、より議論を深めていけるかなと思っておりまして、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>ドイツとかだと、市民の社会課題としてトップにくるのが教育なんです。2番目あたりに環境がくるんです。日本だと経済がトップにきて、次に安全保障とかがくるような感じで全く意識が違ふと思うので、その辺がどういふふうに向こうは育まれてきたのかとか、そういうところも分かれば趣旨としても、次世代の教育にもうちよつと力を入れましようとかという手が打てるのかなというふうに思ひて、いろいろな視点から検討していけたらいいなというふうに思ひます。ありがとうございます。</p>
渋谷委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>1つご指摘があつたので、委員もそうだと思うんですけど、移住してきた方、外から来た人がどう見ているかというのは、無作為抽出した資料の中で移住者というのは分かるんですかね。</p>
大内副主幹	<p>無作為抽出の項目の中には住基登録日を入れておりませんので、今の段階では分からないです。</p>
渋谷委員長	<p>確かに外からの目というのももしかしたら要るのかなという気がしますが、拾いにくいかもしれないですね。</p> <p>あと、私からアンケートの話が出たので。無作為抽出のものどめぐみネットさんのものと、補助を受けた人というカテゴリーがあるんですね。そうすると、補助を受けた方どめぐみネットさんというのは、基本的に環境に関心が高い人が多いんじゃないかと思うんです。そういう意味では、ちよつとバイアスがかかちよつと可能性があるんで、きちんとして分析する必要があるかなと。</p> <p>企業さんもそうですが、エコ事業所さんとそうでないところというのは明らかにたぶん意識の差があるので、ここはちよつと気をつけて分析をしてほしいなと思ひます。考へていらっしやると思ひますけども。</p> <p>あとは、今たくさんご意見をいただきまして、総合計画のアンケートの中身が分からないので何とも言えないという状況が今あるので、もしかしたら総合計画のアンケートと環境の狭間に落ちているものがあるかもしれないとか、そういう観点があるので、市内の方はご覧になつている可能性が高いのですが、もし可能であれば総合計画のアンケートも委員さんに出してもらえればと思ひました。</p>

大内副主幹	<p>総合計画のアンケートにつきましても現在設問を検討中というところでございましたので、確定して公表できる段階になりましたら委員の皆さまに参考資料としてお示しします。</p> <p>合わせて、Webに限ったお話にはなりますが、職員のほうでWebでのアンケートを、集計を前提にした形で構築することは可能です。なので、議論の進行に合わせて、フリーという形にはなるかと思いますがWebでのアンケートを、今回お示した基礎となるアンケートの他に行うということも可能と考えております。</p> <p>例えば、ごみ出しに特化したアンケートとか、対象者は市内でたくさんの住民の方が参加されている、例えば衛生組合連合会とか、そういった方々を対象にするとか、そういった形での特化したアンケートも時間と時期をいただければ可能と考えておりますので、それも1つ合わせてご提案というか、お話しさせていただきたいと思っております。</p>
渋谷委員長	<p>他の地域の環境基本計画の策定を見ていると、アンケートが指標になるというケースが多いんですね。10年後どうなっているのかというアンケートをもう1回かけて、その差がどうだったかというので測るというやり方をしているので結構大事なものになる。指標を設けるかどうかという、ここは議論だと思いますが、そういう使い方もできるので、委員の皆さん、しっかり見ていただければと思います。よろしくお願ひします。</p> <p>千葉委員、金融のお立場から何かございますでしょうか。</p>
千葉委員	<p>それでは何点か。先ほど委員長もおっしゃったような奥州市の総合計画のほうを今、盛り込まれているものかもしれませんけれども、環境基本計画といったときにごく一般の知識、認識で感じたことは、例えば環境の負荷を低減させるとか、環境の保全を図っていかうみたいなというのは教育の中でもあるかと思うんですけども、われわれ一般企業からすると普段の取り組みから言えば生産性を上げましようですとか、その辺は最近DXという言葉で推進をしているところなんですけども、実際は、私もそういった担当というか、携わって、普段仕事をしているんですけども、DX化を図ることによって相当な環境負荷の低減ですとか、相当な生産性が上がるんですね。</p> <p>それについては、システムの改善と作業改善という2つに分かれるかなと思うんですけども、そういったことが今回の環境基本計画のほうに織り込まれるのかどうかということがまず1つ、お聞きしたいところですね。</p> <p>2つ目はごく一般的なことですが、私も普段、一般市民として、奥州市役所の色々な部署の方々の業務情報ですね、いろいろあると思うんですけども、今日もいろいろな部署の方が来ていらっしゃると思うんですけども、例えば各部の方々へ、今回の環境基本計画の策定に当たって奥州市の課題ですとか問題点というのを3つ挙げるとすれば、どういったものが優先順位として奥州市役所の内部でどういった</p>

	<p>ところが出るのかなと。これは一市民として興味本位でまずお聞きしたいというのが、以上、2つでございました。</p>
<p>渋谷委員長</p>	<p>2点あります。お願いします。</p>
<p>大内副主幹</p>	<p>1点目、環境負荷の低減と、いわゆる事業活動との関わりということでお伺いがあったと思っています。お話のご指摘のとおり、事業の効率化が進めば、一番単純に見えてくるのはエネルギーの省力化につながるものと考えています。それは当然脱炭素につながるということも自然の流れでストーリーがもう見えてしまうというぐらいだと思いますので、今回事業者に求める取り組みとして、太陽光発電を載せましょうと。これもそのとおり、1つではあるんですが、それよりももっと経営に近いところで、コストの低減をすれば経営に直接的な利益があるという視点からまず入っていただいて、エネルギーの低減になれば副次的に脱炭素にも貢献ができてしまうというような形で、それをお示ししたときに興味を示していただける事業者の方は多いのかなと思っていたところが、まず1つ目の部分でございます。</p> <p>あと、2つ目のご指摘、ご質問の部分でございます。主にお示しする部分の計画といたしましては、地球温暖化対策実行計画事務事業編の中で市の課題として浮き彫りになってくるものと認識しているところではございます。</p> <p>内容としては、今までのお話の中で登場しましたとおり、環境は環境部門だけでやると全く進まないという状況で、生活環境課GX推進室では強く認識をしております。教育から始まって設備投資まで、あらゆる形で各部が協力し合って、それぞれ主体的な施策を進めていかないと総合的な市の脱炭素化は進まないというところは明確に認識しているところではございますが、今回計画を作るに当たって、市でも脱炭素の、温室効果ガスの削減目標を組み立てる必要があります。それについては、その目標に合わせてではなくて、ひとまずは私どもが取り得る施策をまず積み上げた上でどの程度の目標として落とし込むべきかという、より実現可能な部分でのラインをにらむ必要があると考えているところではございます。</p> <p>その時点で、計画策定委員会の下に組織されます庁内職員によるWGの中でそれぞれの部署に対する意識づけ、あるいはそちらからのご提案を取りまとめていきたいというふうに考えているところではございます。</p>
<p>渋谷委員長</p>	<p>市の認識も市民に出していく必要があるかなと。分かりにくいから市がどう思っているのかをちゃんと出してねと、そういう意味だと思います。よろしく願います。</p>
<p>花澤副委員長</p>	<p>事業者のアンケートのところで、例えば「DXに取り組んでいますか」「サステナビリティ開示していますか」とか、そういう情報は今後の施策を決める上で有益な情報になると思うんですけど、ここには入ってないんですね。それは、あえて外</p>

<p>大内副主幹</p>	<p>したところがあるんですか。</p> <p>専門的な用語を今回の初期アンケートで登場させるかどうかについて、最初に検討させていただきました。実は結果としては、あえて出さないことにしたということです。それこそウェルビーイングから始まって、さまざまな、意味が分かってしまうと非常に使いやすい、分かりやすい言葉が環境の中では飛び交っているんですが、分からない人は分からないというところから始まりましたので、例えば、事業者アンケートの中ではどういうことに取り組んでいますかという分析は、主に省エネという言葉を使ってみたりとかしております。</p> <p>(そういった専門用語については) 将来的に計画の中で事業者の方向けに何らかの補助金や補助制度とかを検討していく上で、その中で事業者にお邪魔をして省エネ診断等を行った際に、その中で事業者の方にお話をする機会があってもいいのかなというのが1つと、2年目以降のWS、計画策定後も同様に、市民や事業者の方に対して、この環境施策に関して説明する場を定期的に大小さまざまな規模で作ることは有用だと考えていますので、そういった機会を捉えながら少しずつもののほうが、かえって浸透がいいのかなというところでもございました。</p> <p>どうしても、アンケートの分量がこれでもまだ多いと考えていたところでしたので、そういう意味では、そこはあえて隠したということになると思います。</p>
<p>花澤副委員長</p>	<p>スマートメーターとかコージェネ、J-クレジットとかというのは分かりやすい言葉として認識されているということですかね。</p>
<p>大内副主幹</p>	<p>スマートメーター、J-クレジット、このあたりは私が作った文書もあるのであれなんですけど、スマートメーターは別にしまして、奥州市でJ-クレジットについては一昨年あたりから取り組みを進めている中で、報道機関等の報道もあるということをやっております。どうしても最初はカタカナ語が非常にたくさんあったんですが、それをカットしていくというところでカットしました。</p> <p>あと、J-クレジットにつきましては、今、市のほうで市有林のJ-クレジットについては進めているところではございますが、要は、事業者の方が行う脱炭素の行動で減らした温室効果ガスの量をお金に替えることができる仕組みということになっておりますので、こちらについてはあえてこのまま固有名詞として出させていただいて、興味があるかどうかというのをぶつけてみたいと。そのような形であえてぶつけた質問となっております。</p>
<p>花澤副委員長</p>	<p>コージェネレーションシステムとかというのも例えばアンケートを取って、その後どれだけ生かせるのかだと思うんですけど、それだったらGXとかのほうが後の施策に効果的に生かせるような気がしますし。</p> <p>アンケートでいろいろ取った後、この結果がどうだったらどういう施策につなげ</p>

<p>渋谷委員長</p>	<p>ることができるというところまで予想してのアンケートの設問なのか、ただ、今その導入率を把握したいだけなのか。前者のほうでぜひ進めてもらいたいとは感じます。すみません、途中でさえぎって。</p>
<p>小澤委員</p>	<p>いえ、ありがとうございました。 小澤委員、いかがでしょうか。</p> <p>フレーズとして、カーボンニュートラルとか脱炭素とかというのは世界的な問題で、実際普通に生きている人はそんなに重要視していないのが事実なのかと思う。でも、今後何十年生きる地球がどうなっていくのかというのは大事だと思うんですけど、実際そこはみんな意識していないと思うんですよね。</p> <p>そこのフレーズを出されると拒否反応みたいなのが起きてしまうというのがあって。でも、地元愛みたいなのを持っている人というのは世の中、結構いると思うんですよ。なので、奥州市の地域環境とか世の中の、奥州市が今後どうなるかという感情のほうに訴えたほうが結構いいのかなと思いました。WS もそのようなフレーズというか、敷居を下げたほうが人は来ると思う。実際、環境問題は、興味がある人がやっても何にもならないのかなと思うので、人数を増やすとか母体を増やすと考えたら敷居を下げたほうがいいのかなと、そういうフレーズでやったほうがいいのかというの聞いてて思いました。以上です。</p>
<p>渋谷委員長</p>	<p>ありがとうございます。おっしゃるとおりで、今の若い人たちは小学校から温暖化の話は頭の中に全部入っている。だけど、実際の行動には動かないということがあるのはおっしゃるとおりだなと思うんですよね。</p> <p>日本の省エネはすごくきついというか、つらいものだというイメージがすごくあって、先ほどドイツの話とか欧米の話がありましたが、向こうの発想は違って、温暖化対策は未来、将来、よりよい生活を迎えるためにやるんだと向こうの人は考えるんだけど、こっちは皆、つらいものだと思っているからなかなか進まないということがあるみたいですね。そこを何とか打破できればいいかなと思います。</p> <p>役所内の委員の方もそうですが、政策企画課とか財政のほうは具体的に庁内の脱炭素とか施設からのエネルギーの関係とかをいろいろやっていらっしゃると思うんですが、そういう観点からもそうですし、何かこの計画に関してあればお願いできればと思うんですけど。</p>
<p>菊地委員</p>	<p>例えば、庁舎のLED化のほうは全て終えておりますし、公用車も、今、脱炭素という言葉があるという話でしたけれども、そういった電気自動車を取り入れるような動きをGX推進室と一緒に進めていくというような流れに今計画を立てております。</p> <p>事務的なことで事務局にお尋ねします。4つの計画の中の1つの、第3次奥州市</p>

	地球温暖化対策実行計画の事務事業編、こちらはどのようなスケジュールで今後、令和9年度からということですが、そこを教えてください。
大内副主幹	事務事業編の目標達成までのロードマップという部分でしょうか。
菊地委員	今は令和7年度だけれども、ここからどのようなスケジュールでこれを進めていくのか教えてください。
大内副主幹	策定までのスケジュールということによろしいでしょうか。
菊地委員	はい。
大内副主幹	<p>こちらにつきましては一体策定ということになりますので、基本的にはそれぞれの目標を立てることと取り組みの洗い出しを、アンケートと基礎調査後に行う予定としております。基礎調査につきましてはGX推進室のほうで行っております、全庁に対してのエネルギー使用量調査、太陽光発電のポテンシャル調査等の内容を加味して盛り込んでいくこととなります。</p> <p>一番のネックというか課題になる見込みの、再生可能エネルギーの導入も含めた今後のロードマップにつきましては、各担当課とご相談をしながら煮詰めていくということになりますので、GXだけが走るイメージではないということで予定しております。</p> <p>一応スケジュールとしては一体策定、最終的に出来上がりますのは、令和9年3月に、表題としては第3次奥州市環境基本計画という形で、計画の中に計画の位置づけというものを必ず書かなければなりません。根拠法令等を書く部分がございますので、その中に環境基本計画および地球温暖化対策実行計画、気候変動適応計画を根拠法令と一緒に書いていくと。奥州市にとってこの計画はそれらの位置づけとして策定するものですということで表現します。</p> <p>もう1点、取り組み、あるいは成果等のデザイン、表現につきましては、先ほどからさまざまな方からお話が出ており、私の説明の中でも少し触れたところではありますが、非常にリンクをしていたり、それぞれが効果を及ぼし合うような中身になってくると私の中でも想定しておりますので、それらを効果的に計画の紙面の上で表現できないかなということも合わせて考えていくと。その段階では各課、課を跨いだ形でのイメージの議論が必要になってくると想定しているところでございます。</p>
菊地委員	ありがとうございました。
渋谷委員長	ありがとうございました。

<p>千田（充）委員</p>	<p>都市計画課はどうでしょうか。先ほど空き家の話も出たのですが、どんな感じでしょうか。</p> <p>うちの都市計画で景観とかそういった部分をやっていますが、数年前から県から補助金をいただきまして、景観アドバイザーを小学校のほうで年間2学級ぐらいなんです。景観学習をしたいというような学校があった場合には、そこに県から景観アドバイザーの派遣をもらって、うちのほうからその景観アドバイザーを派遣させていただいて、基本的には2回ぐらい景観学習をさせていただき、地域の景観を子どもたちに写真を撮っていただいて、それを持ち寄ってどういうところがよかった、悪かったというような形のものをしていただく。</p> <p>景観学習とかについては小さいうちからある程度刷り込みというか、子どものうちにそういった部分でも教育の一貫で取り組んでいただければ、将来的にそういった視点で見てくれる部分があるのではないかなというような形で、今後継続してやっていきたいと考えているんですけども、地域の中ではそういった子どもたちと一緒に環境の勉強とかをやっているとは思ってはいますけれども、県から補助金とかをもらって、学校の教育、勉強の中でそういった環境の学習とかは、今も県の中でもやっているような形のものという認識でよろしいでしょうか。そこらへん、お聞きしたいのですが。</p>
<p>大内副主幹</p>	<p>環境学習、環境教育の場の提供につきましては、生活環境課の所管で現在推進をしているところでございます。主に、各学校の中でもさまざまな視点での環境に対する取り組み、あるいは学習の機会を設けられているところでございますが、それとは別という部分でお話ししますと、例えば、水質生物調査のような形で、奥州市内の河川の水質の状況などを児童の方々に、実際に生息している生き物を採取、目にさせていただくというような形。そちらの場には県のほうから講師の方を派遣して、専門的な知識と一緒にふるさとの自然を楽しみながら研究していただくという場を設けているところでございます。</p> <p>それ以外に、地域コミュニティに対しましても、リサイクルをはじめとしたさまざまな形で環境に関する学習の場を提供しております。今後、計画の中でも環境教育、環境学習については、一番には環境に負荷を与えている、人に対してのアプローチとしては非常に有効な方策の1つと考えておりますので、それについてもしっかりと検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>千田（充）委員</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>渋谷委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>道路交通とか騒音対策とかそういうもののベースになるのが都市計画になってくるので、非常に重要な役割、環境保全の役割を果たしているかなと思っています。</p>

千田（有）委員	<p>そういう観点からもいろいろご意見をいただければと思いましたので、よろしくお願ひします。</p> <p>今、くしくも環境教育の話になってきたので学校教育課長から何かございませんでしょうか。</p> <p>いろいろなお話の中に、結局教育だなというふうに思うような中身がたくさんありまして、市の様々な課にもお願いして学校の教育に携わっていただいていますし、県のほうにも協力いただいたり、地域の方にもお手伝いしていただいて、子どもたちが環境に触れる機会がたくさんあります。</p> <p>お話の中にも出てきたように、やはり奥州市の良さを知ることがすごく大事になっていて、出ていってしまうんだけど、戻ってきてここで何かをしたいと思うような子どもたちを育てたいというところで、来年からふるさと学習というものを立ち上げて、ふるさとの学習を5ジャンルに分けてやるんですが、そのうちの1つを環境というふうに考えて、子どもたちに奥州市のよさを環境の視点で、というふうなことを計画しているところです。</p> <p>先ほどの水質調査もそうですけれども、四季それぞれのよさというものもありますので、そういう部分に子どもたちが気づいて、それをどうしていけば持続できるのか、さらに良くするにはどうしていけばいいのかということを考えさせたいなど、計画しているところでした。</p> <p>あとは、エネルギーと考えますと、教職員の働き方改革を進めていけば夜の電力等も使わずに済むのかなというところも考えているので、なるべく退勤を早くする。それは自分たちの働く生活にもなるんですけれども、要継続かなと考えているところです。</p>
渋谷委員長	<p>働き方改革も環境に役に立つ、そういう考え方もありますよね、確かにそうだと思います。ありがとうございます。</p> <p>では若生委員。</p>
若生委員	<p>今回の計画を作るのに、いっぱい叶えたい目標があるんだけど、これをしたっていうのを、今聞いててやっぱり一番はウェルビーイングというか、ここに住んでいて心地よく暮らしたい。今の自分だけでなく、将来の孫、子の代もそういうふうに暮らしてほしいとか、みんなで共通に目指したいところは何かというのを1つ掲げてもいいんじゃないかなというふうに思いました。</p> <p>あと、めぐみネットや企業の人たちも会員になっていて、いろいろな活動を一緒にしている中で、企業の人たちに環境のことをやっていて良かったなって、返せる部分がいつも、なかなか見つけられなくてもやもやとしているところではあったんですが、市民の人たちが省エネ家電のところの募集、普段環境にあまり関心がない人でも、目ざとく見つけると申し込みに来るというのに、やはり市民の行動は現れ</p>

	<p>ていて、お得とかうれしいとか、そういうふうになれば自然と、とくとくと語って聞かせるよりもよほど行動につながる。</p> <p>だから、企業の人たちにとってもこれはいいなという部分が見えるような形で、先ほどいろいろ出てきた課題を解決するような仕事を企業がすると、その辺もつながり、企業の成果が伸びるといふ部分にもつながるみたいな視点でのフィードバックができればいいのかなと思いましたが、アイドリングストップってさんざん言っているんだったら、江刺の工業団地の出勤・退勤時の渋滞を何とかしたら奥州市の計画値が下がるんじゃないかなと思ったりして、環境課だけでは突破できないところを、これを機会にちょっとねじ込んでいけたらなと思いました。以上です。</p>
<p>渋谷委員長</p>	<p>ありがとうございます。事務局、何かありますか。</p>
<p>及川主幹</p>	<p>総合的なご意見でしたので、私のほうから。</p> <p>今日の議論を聞いておまして、基本的にわれわれの考え方と皆さまの考え方が同じ方向にあるなと思って、一安心しているところです。というのは、これまでの行政計画はどうしても結果を出そうとしているところが最近はやりで、要は、手段が目的化してしまっているんですね。結局、実績を出すためにそれを頑張ると。</p> <p>おっしゃるとおり、例えばCO₂を減らすというのが手段になってしまって、それを減らした結果がどうなるのかというところがはっきり分かっていないので、なかなか皆さん、ハードルが高いとか分かりにくいとなってしまうので、そのいった先にはこういう世界があるんだよというのがあった上で、そのためにはやるべきことをぶらさげるといふふうにしていかないと、目標のない取り組みはおそらく苦でしかないと思いますので、なかなか取り組んでいただけないということになるかと思えます。</p> <p>今日皆さんがおっしゃっている話は、言い方はそれぞれ違いますけれども、そういったところをご指摘されているんだなと思って、私も非常に心強く思っておりました。</p> <p>ですので、最終的に計画書として取りまとめるときに、表現をどうしていくかというのが今回の計画の肝だと思っています。取り組むことは、どこに行ってもそんなに違ってこないと思いますので、それをどう表現するか、どう市民の皆さんに、身近にこれをやらなければいけないんだという理由を分かっていたかというところの表現が非常に難しいと思うんです。</p> <p>たぶん、コンサルさんも市でいろいろな計画を作っていらっしゃるのご経験はいっぱいお持ちだと思うんですが、おそらく一番苦労されるのはそこだと思いますので、これからアンケートの結果が出て、素案の具体のものが出来ればもう少し突っ込んだ議論にはなっていくかと思うんですけども、いずれ、どういうふうな言い方をすれば市民の皆さんに響くかというところをぜひ皆さんのお知恵を使わせていただきたいなと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思っています。</p>

<p>渋谷委員長</p>	<p>ありがとうございました。 ほかに何かございますか。</p>
<p>花澤副委員長</p>	<p>行動につなげることがすごい大事ということなんですけども、分かりやすく知識を与えられたところで動くというわけでもないですし、人それぞれ行動原理が変わってきて、自分の暮らしに余裕がないと環境のことまで考えられないとか仲間がいることで動きやすくなるとか。たぶんいろいろな企業がこれまで何年間もアンケートをやってきて、なんで日本の環境の行動が進まないのかというのをやってきているのがたくさんあるんです。</p> <p>その中で、日本人が、自分が動いたって世の中変わらないよと思っている人がすごい多いという結果が如実に表れていて、それはたぶん海外とは全然違って、日本は最低レベルに低いんですけども、われわれが動くことで社会が変わるんだよという成功体験がないまま大人になったからそういう状況になっているんだと思うし、そう考えると、最終的にはやはり子どものうちにたくさんの成功体験をさせてあげて、自分が動くことで社会が変わるんだよというのを実感してもらって、どんどんいい歯車が回って、世の中が、環境がよくなって暮らしやすいまちになる、持続可能になっていくというふうになっていけばいいのかなとは思って。</p> <p>社会心理学的な部分も計画を策定する上で大事な部分だと思うので、ぜひ検討いただきたいと思います。</p>
<p>渋谷委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>岩手県のほうでは、温暖化の部会の副会長は社会学の先生に担っていただいています。市民がどうやったら参加できるかという視点で委員長をやっていただいているということで、そういう視点が入ってきているのは確かなんですね。そういうことも加味しないと動かないというようなご指摘だったかもしれません。</p>
<p>及川主幹</p>	<p>おっしゃるとおり、社会行動学を研究していらっしゃる先生を今回、学識経験者としてお願いしたいなということを実は考えていました。ただ、なかなか限りがあったので入ってはいただけなかったのですが。</p> <p>今後、WS とかというところにスポットで、例えば講師をお願いするということもあり得ますので、そういった検討をしてみたいと思います。</p>
<p>渋谷委員長</p>	<p>よろしく願いいたします。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>私のほうから2つ。</p> <p>今、環境行政は温暖化が一番重要だと言われているのですが、もう一つの柱で生物多様性というキーワードがあるんですね。これもなかなか分かりにくいんですけども、生物多様性の地域計画を、義務ではないんですが努力義務で作ることにな</p>

	<p>っているので、岩手県の計画は環境基本計画の中に生物多様性地域計画を組み込んでいるということがあります。</p> <p>もう1つ、環境教育に関しても計画を作ることになっていて、これも努力義務なんですけれども、せつかく2年間かけて作るので、環境教育も計画を作って位置づけてしまって、ほぼ完璧なものを作るという方向で考えていただければありがたいなと思っています。組み込むというので新しく作るわけではないのですが、ご検討いただければと思います。</p> <p>ということで、よろしいでしょうかね。</p>
4 その他	
渋谷委員長	<p>それでは、次の「その他」にいきたいと思います。事務局から何かございますか。</p>
大内副主幹	<p>事務局から2点、ご提案等申し上げたいと思います。</p> <p>1点目でございます。先ほどお話の中で出てまいりましたが、会議形式の委員会の合間に、さまざまな形で事務局から委員の皆さまに情報発信をさせていただくことをあらかじめお許しいただきということです。送る方法につきましては、データの容量等にもよりますが、基本、電子メール等を検討していますけれども、資料の内容によりましては電子メールでの添付が難しい場合もあるかと思しますので、その場合についてはお手紙の形式を考える場合もあるかと思します。</p> <p>あわせて、委員会と委員会の間であっても逆にご指摘等ご意見を、GX推進室のメールアドレスのほうにメールをいただいて、そのいただいたご意見に対しては今度全ての委員宛てに、ご提案いただいた委員の名前も含めて、事務局の回答を含めてフィードバックをするということを繰り返させていただきたいと考えています。</p> <p>2点目、第2回委員会の日程についてのご提案でございます。来月初旬からアンケートの発布と回答の受付と予定しております。あわせて、基礎調査も既に着手をしているところでございます。その調査およびアンケートの収集分析にかかる期間と、11月20日に計画策定委員会の上位機関になります奥州市環境審議会が予定されており、この間を取りまして、10月30日の午後2時頃の開催はいかがかなということでご提案させていただきたいと思します。以上でございます。</p>
渋谷委員長	<p>ただ今の事務局からのご提案について、委員の皆さま方からのご質問、ご意見等ありましたら挙手の上、ご発言をお願いいたします。</p>
住吉委員	<p>10月30日2時ですね。それ以降なんですけれども、例えば年間スケジュールみたいな形で策定することが可能だったらお願いしたいなと思しました。基本的には参加はマストだと思っているんですけれども、先々の予定が入る可能性もあるので、できれば早めに設定日を押さえておきたいと思しましたので、ご検討いただければと思います。</p>

大内副主幹	<p>今年度中につきましては、今回も含めまして合計 3 回を見込んでいるところではございます。第 3 回につきましては環境審議会の日程等も含めまして、今の段階ではおそらく 2 月初旬頃を見込んでおります。第 2 回でいただいたご意見等を反映するためのお時間がどの程度かかるかというのもありましたので、その他につきましては第 2 回までの間にご提案ということでお示しするという形でもよろしかったでしょうか。</p>
住吉委員	<p>はい。</p>
大内副主幹	<p>分かりました。一応見込んでおりますのはおそらく 2 月上旬頃の、だいたい間、2 カ月から 3 カ月を置きながら委員会を開催できることになりそうでしたので、バランス的にはそのあたりを見込んでいるところではございますが、具体的日付が見えてまいりましたらあらためてメール等でお示しをして、その分については別途ご意見をいただくということを検討してまいりたいと思います。</p>
渋谷委員長	<p>よろしいでしょうか。</p>
住吉委員	<p>はい、ありがとうございます。</p>
渋谷委員長	<p>ほかにはいかがですか。10 月 30 日まで会議がないということなんですけど、その間にもいろいろ、何か宿題な出そうな気がしますので、皆さん、よろしく願いいたします。</p> <p>事務局からの提案については以上としたいと思います。</p> <p>以上で本日の議事については終了したいと思います。事務局のほうに進行をお返ししたいと思います。よろしく願いします。</p>
及川主幹	<p>渋谷委員長、ありがとうございました。</p> <p>それでは次第のほうに戻りまして、4 番の「その他」ということではございます。事務局としては特に用意はございませんが、委員の皆さまから何かその他ということでご発言はありますでしょうか。</p> <p>特になしということで、それでは 5 番の閉会でございます。</p>
<p>5 閉会</p>	
及川主幹	<p>以上をもちまして、奥州市環境基本計画策定委員会を閉会させていただきます。本日はご出席いただきまして、大変ありがとうございました。</p>